



第55号

花だより

安佐南区
花いっぱい運動

令和3年秋号



発行: 安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

〔祇園西支部〕 報告者: 櫻井 孝子

ダリアについて



秋に見頃を迎える花に「ダリア」があります。
色や形はもちろん、500円硬貨ほどの小輪
から大人の顔が隠れるほどの大輪まで、さま
ざまなダリアに出会うことができます。

メキシコが原産でキク科の多年草ですが、
日本には江戸時代末期に伝わり、またたく間
に人気の園芸植物になったと言われています。
約27種の原種をもとに世界各国で品種改良
が行われ、現在、約3万種類を超えるといえます。



広島県にも有名な所があります。良質な水
や昼夜の温度差、暖かな日差しに恵まれてい
る世羅町の世良高原農場です。ここは、ダリア
だけでなく、いくつもの花の名所があるところ
です。ダリアの見頃は9月中旬から10月の
下旬ごろです。調べてみるとダリアもサイズや
花型など色々あるので、びっくりしました。

<参考:ダリアの花型>

ボール咲き・八重咲き(皇帝ダリア)・
セミカクタス咲き・ポンポン咲き・
シングル咲き・スイレン咲き・
インフォーマルデコラ咲き・
ストレートカクタス咲き・
フォーマルデコラ咲き など



[沼田支部] 報告者:杉原 悦子

祈りの伴西公園に彼岸花咲く

令和3年3月11日(木)、東日本大震災から10年を迎えた追悼の日、安佐南区伴西公園に老人クラブ会員、福島県人会、花いっぱい推進グループのメンバー70余名が集まり、被災地被災者への鎮魂の祈りを込めた1000株の彼岸花を植樹をしました。



年々、自然災害が多くなる中、各自、今の普通の幸せに感謝して、東日本大震災を忘れまいと祈りながら植樹をしました。

今年の開花は難しいと思いましたが、一株一株が一生懸命、花を咲かせて祈りを届けてくれました。



9月21日、花いっぱい運動推進委員会沼田支部のメンバーは公園に集まり、来年も「株よ育て」と草取りをしながら祈りを新たにしました。



【安東支部】 報告者:上長者 辰雄

コロナ禍の秋蒔き花の種蒔き

秋蒔き花の種蒔き期である8～9月、新型コロナウイルス感染症が急激に拡大し、花いっぱい運動も、感染防止対策を講じながら活動をしました。12月には、区役所で開催する「小さな音楽会(※)」とのコラボレーションを計画しており、来場者に葉牡丹を配布する予定です。このため、「小さな音楽会」で配布する葉牡丹の種蒔きを8月中旬、自宅で行いました。

種蒔きしたケースは、2階のバルコニーに置いて管理し、2日後に発芽しました。発芽率は80%で、順調に成長し、9月下旬にポット上げて、現在育苗中です。12月には、立派に生育した葉牡丹を「小さな音楽会」に参加された市民の皆さんにお配りすることができるでしょう。

また、私達の管理する花壇に植栽する葉牡丹、ビオラ、撫子、金魚草、ノースポール、ゴデチアの種蒔きは、9月上旬、安東公民館において、マスクを着用し、密集・密接に配慮しながら共同作業で行いました。葉牡丹、撫子は、発芽率80%で良好でしたが、ビオラ、金魚草、ノースポール、ゴデチアの発芽率は5～20%でした。発芽率が低い原因は定かではありませんが、9月中も気温が高かったこと、種蒔きしたケースへの給水が不十分で、発芽までに水枯れが生じた等が推測されます。

花いっぱい運動に参画して10年余経過しましたが、こんな失敗は初めてです。今回の失敗を教訓に基本の実践と確認を励行して、花の種蒔き、育苗に努めたいと思っています。



※ **安佐南区役所 “小さな音楽会”** × **“花いっぱい運動”** ♪🌸♪🌸

安佐南区役所では、「地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり」の一環として、区役所において定期演奏会「小さな音楽会」を実施し、「住民に親しまれる区役所づくり」に取り組んでいます。

そして、月1回の定期演奏会の締めくくりとして、12月にクリスマスコンサートを「安佐南区花いっぱい運動」とのコラボレーションで実施します。(演奏終了後、来場者に葉牡丹をプレゼントします。)

日時:令和3年12月24日(金)12:00～13:00

場所:安佐南区役所4階講堂

内容:ヴォーカルアンサンブル、サクソフォン四重奏



新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策のため、事前に申し込みが必要となります。12月1日(水)から受付開始で先着70名です。詳しくは Facebook やホームページ、12月1日号の「区報あさみなみ」で、あらためてご紹介します。

庭の**アケビ**が実を付けた

我が家には、裏庭と玄関横にそれぞれ 1 本のアケビがあります。裏庭のアケビは、30 年前、県北の実家の山からアケビの幼木を持ち帰り、移植したものです。今では、直径 5 cm、長さ 8 m の樹となり地上約 3m の位置に葉が茂っています。玄関横のアケビは、数年前裏庭のアケビの種から芽が出たものを移植したもので、今では、直径 5mm、長さ 2.3m に成長しています。

山に自生しているアケビは、蜂の媒介により実を付けますが、庭などのアケビは、他のアケビの花粉を授粉しないと実が付きません。私は、毎年春、アケビの花が咲いている時期、裏庭のアケビの花粉を玄関横のアケビに、玄関横のアケビの花粉を裏庭のアケビに授粉しています。

今年は、玄関横のアケビが 12 個、裏庭のアケビが 3 個の実を付けました。子供の頃、山へアケビ採りに行ったことを懐かしく思いながら、我が家の庭のアケビを観て喜んでいます。

